

駒場松桜会会報

第74号
 2004年4月1日発行
 財団法人駒場松桜会
 〒153-0044東京都目黒区大橋2-18-1
 都立駒場高校仰光寮
 電話03-3466-7579
 振替番号
 00190-8-28486
 E-mail/
 komaba999@komaba.or.jp



松桜会講座始まる!

— 百年年の意義も新たに —

松桜会会報73号でもお知らせしました通り、昨年10月から、松桜会初の試みである、百周年事業の一環としての松桜会講座が開始されました。同窓会会員だけでなく、PTA、旧職員もまじえて、多様な講座が開かれ、活発な活動が行われています。各講座の様子をご覧下さい。なお第2期講座の詳細は6面にあります。

◇ 歌舞伎に触れてみよう ◇

10月25日から第4土曜日、金森和子さんの歌舞伎の講座が始まりました。受講生は、抽選で第三31から駒46までの46名です。講座は体育講義室で講義とビデオで行われますが、金森さんは駒場時代KHKに所属しアナウンサーを志した程で、優しい語り口に引き込まれてしまいます。講座は第1回「歌舞伎って何?」から始まり、舞台構成・演出と最近歌舞伎を観始めた私には毎回発見があります。例えば第3回の定式幕のお話で、黒・柿・萌葱の3色の縞の並び方が歌舞伎座と国立劇場では違うと気がつきませんでした。また紙の雪と桜吹雪は実際に使用されたものをいたたき、「義経千本桜」の吉野山で散る桜は花びらの形をしていたのか、「源氏物語」で明石の上と光源氏に抱かれた明石の姫君との別れの場面に降りしきっていた雪は四角の和紙だったのかと、かつて観た場面を思い出しました。

母校で同窓生と、同期の友人の授業を受けるのは、女学生に戻ったように楽しく新鮮です。なお、12月は歌舞伎座で凛々しい新之助の実盛にうつとり、芸達者な勘九郎に笑いを誘われ、年末の慌ただしさをひと時忘れたい。 J・Y (駒18)



◇ 骨董市を楽しむ ◇

講師今秀夫(駒6)羽島知之(駒6)の両氏により、11月から今年2月まで開催されました。骨董の定義は、生活用品として、趣味蒐集品として、骨董の利殖としての三つが考えられ、大事なのは、何を集めるかテーマを絞ること。品物を購入する

◇ 江戸東京歴史散策 ◇

「江戸開府四百年」の年に残された江戸を求めて都内を歩く楽しみを友人と分かち合うというテーマで始まったこの講座は、第1回がグループ編成後、古地図を見ながらの講義、第2回は深川方面の親水公園を巡り、第3回は都営交通一日乗車券で大江戸線に乗り、第三高女跡地、汐留、月島さらに都電荒川線までとげぬき地蔵まで足を伸ばしました。第4回はグループ討議で最終回のコースを決定し、最終回は「神田川の源流を

際は、たとえ本物でなくても自分身の納得があれば楽しむことができ。実習として骨董まつり(東京流通センタービル)、骨董ジャンボリー(東京ビッグサイト)、東郷の杜能美の市(原宿東郷神社境内)の三箇所に行つた。参加者それぞれ漆器



ガラス製品、アクセサリーなどを購入し、評価しあった。今、頻りに身近な場所で開催されていきます。講座に参加をしなかった人も、骨董に目を止めて見ると古の世界に引き込まれますよ! T・Y (駒14)

たずねるー井草川から善福寺池・井の頭公園という源流巡りとなりました。幸い毎回天気に恵まれ楽しい歴史散策となりました。 K・I (駒15)



◇ 歴史と物語へのいざない ◇

人々の願望が物語化され史実のように思われているが、実際はこの点に興味を持ち講座に申し込みました。最初に①歴史認識の問題、②史料として資料を扱う際の注意点等、基本的な講義を受け、題材の歌舞伎「仮名手本忠臣蔵」の台本を基に登



場人物の設定、時代背景等を現在のイラク戦争や映画「ラストサムライ」を例に、詳しく掘り下げて頂き学生時代は興味なかった歴史の授業でしたが、講師の谷口眞子先生のテンポある語り口と話の展開に引き込まれ、90分がとても短く感じられました。ビデオ等視聴覚教材も使った2時限の内容で講義して頂いても良いと思えました。仕事を持っていて人間は、今回のように集中して一気に内容が進む方がスケジュール調整上も講義の理解度の面からも都合が良いと思えました。講座には昭和3年卒から58年卒の方が参加され、58歳の私が2番目に若い方でした。皆さん意気軒昂で向学心に燃え、元気の秘訣はこれかなと感じました。このような有意義な活動は、是非続けて頂きたいと思えます。皆さん、会費はきちんと納めて松桜会をサポートしましょう。 H・I (駒16)

04年度 総会・講演会のお知らせ

日時 5月22日(土)
 会場 都立駒場高等学校第一会議室
 総会 13時
 講演会 13時30分
 講師 劇作家・演出家 佐藤 信氏 (駒14)

『演劇のある場所』

— 遊びやせむとて生まれけり —
 略歴 「68/71黒テント」による一貫した活動を経て、現代演劇界をリードする劇作家・演出家。劇団黒テント演出部所属。東京学芸大学教授。

生涯学習とは

死ぬまで楽しい旅

D35東 旧職員 佐藤 浩子

学習とは『楽しい旅』ではないでしょうか。私は奈良にいた6年間、遺跡や仏像を全て見てやろうと歩き廻りました。稚純、端麗、沈鬱、柔和、それぞれ作られた時代を現す懐かしい仏たち。外国旅行ができるようになるのと遺跡をできるだけ見てやろうと出かけました。アンコールワット、ダビデ、ピルマのパガン、ピラミッド、モアイ、シルクロード、チベット、先日の地震で崩壊したイランのパム。これらの遺跡の美しさと迫力。人間の生き



ざまの強さ、生きねばならぬ人生を懸命に生きている人々。旅で学ぶ事は無限にあります。一方で60歳定年後、菱刈先生に

恩師からの便り

生涯学び続けたい



旧職員 小貫 房枝

昭和25年戦後初の国際競技大会が日本体操協会主催でアメリカ選手を迎えて行われた。その時日本選手の平均台の演技を見たアメリカの監督ムーアさんが、世界では台上でバレエを踊ると教えて下さった。私達女子委員は早速フランスの体操競技本部から資料を送っていた。その翻訳を見たが専門用語が多く難解であった。女子委員7名は高校勤務で部活を終え、

午後7時にお茶の水の体協に集まり、毎日夜遅く11時頃まで研究に没頭した。2年後のローマ世界選手権大会に女子選手2名を派遣し世界の動きを見ることにした。結果は田中敬子選手(現池田日体大副学長)が平均台で優勝した。関係者は大喜びであったが、女子体操競技は4種目で規定と自由があり、委員の研究は熱心に続けられた。駒場高校では保体科(駒6)に齊藤春江(現永田)が入学した。彼女は東京都中学体操競技会で優勝している。長倉校長のお勧めで体操部ができ、平均台を買っていた。だき、春江さんと二人で練習を始めました。部員もふえ、東京都大会では団体優勝することも多く、全国大会でも活躍した。間もなく男子部員も加わり活気を呈した。昭和39年の東京オリンピックに

勧められ『ささえ古典教室』を自宅の一室で始めて旅行と古典との二刀流でした。70歳過ぎからは古典への旅一本になりました。25年も続いているこの旅はいろいろな人生に出会う楽しい旅。教員時代にはチラと横顔しか見られなかった人にじっくりと話しかけます。最初に会いたかった人は清少納言さん。思う以上に頭の良いセンスある人で、やはり千年に一人という人でした。一寸オツチヨコチヨイのところも魅力です。紫式部さんは日記と歌集を読んで嫌になりました。こうして行平業平さん兄弟、中宮定子の弟の隆家さん、花山院、歌人の和泉式部さん、素晴らしい人や面白い人に多く出

会いました。今はのど自慢の後白河さんがコレクションされた当時の流行歌『今様』を楽しんでいます。王朝と武家、日本を二分する文化のはざまの動乱期の『野卑で野太い庶民の哄笑』に心ゆさぶられてる毎日です。外国の時は土地のガイドさんに、古典の旅では40名ほどの生徒達にサポートされています。この人達の強烈なサポートなしには古典に踏みこむ元気ができません。本当に私は幸せ者だとそろそろ老眼になつてこの旅の仲間達に感謝の毎日です。皆さんも好きな道の楽しい旅を生涯続けていって下さい。続けることが大切です。

生涯の学び



旧職員 林 三郎

府立そして都立の第三高女、第三女子高から駒場高の百年の歴史の歩みは、再び得る事の出来ない数々の思い出を育て、有為の青年子女を世紀の時々刻々に送り出してきた。私は尋常小から15年男子のみの組で学び、奉職命令の新任は雪の新潟、白鳥の舞う瓢湖の学校も男子のみの学校。人生劈頭一個の事あり、立志是なり、自らの手で青年時代の扉を開けと教え始めた。昭和22年の秋、恩師・先輩に、生まれ育った東京に帰って第三女学校に奉職。始めての女子の学校。新渇では生徒・教師・事務・用務全ての世界。第三に着任して、2年から5年、高等科専攻科生徒と女の先生方。教壇の前は教室一杯の三人掛けの机の女学生。『志学』の誓いを固め『朋友』を求め『師』にめぐりあう時は同じ。再び得たい青春を自らの手で培う歩みの春秋を育てることを願った。戦災で校舍を失った第三が、麻布から大橋の近衛縮重聯隊跡地に移り、生徒・教師・父母・同窓が一体と成つて、新憲法による新制高等学校へ発展の新たな歩みを始めた刻々。やがて全国の学校に先駆け新聞刊行・放送開始・HRや全面選択制・男女共学の実施等、そして芸術・保健体育の専門教育を迎える。駒場7・8・9の3年間であったが普通科男女別組の実施も。第三から駒場の激動発展の「喜びを人とわかつと」忘形の交わり「心の友を」と「汗する喜びを」、眼でよく見、口でよく読み、心でよく理解した」時代。多くの教え子の未来への歩みを尋ね、今も東洋の道を辿る。駒4の高女2年5学級の3学期、新学制の実践とばかり、国語全時間と放課後に演劇研究と発表。松子先生(D37西 正岡)が筆頭で、若手の女性教師が小道具・衣装・メイク等々を応援。麻布仰光寮での同窓会理事会にお供も。元日に皇居のお堀端を一周。45回卒業の送別「職員演劇」に共演。校門の「大公孫樹」の下で、二人の出会い。戦後始めての職場結婚ということ。『主婦の友』掲載。

サッカー部OBシニアチームの活動

母校創立百周年、サッカー部創部50周年、そして02年のサッカーワールドカップ日本開催に刺激され、私達サッカー部OBは、新たに50歳以上のシニアチームを結成し、今年3年目を迎えました。初年度は3回、昨年度は7回と年を追うごとに活動日を増しました。元顧問の安孫子先生も必ず参加されます。この数回は元講師の高田(旧姓久保)先生も宇都宮から駆けつけられ、安孫子先生共々かつての教え子達と共にプレーし、叱咤激励されています。

これまでの参加者は毎回15人、20人で、サッカー部を創設した時のメンバーの一人、68歳の象(駒6)を筆頭に歳を忘れてボールを追いかけグラウンドを走り回り、ここが良い汗を流しています。活動内容は、ミニゲームを中心に参加者の体調や体力を考慮し、無理をしないで休息をとりながら出来るよう配慮しています。

昨年の後半は三菱レディーOGチームとの交流試合を数回もちま



した。当初は女性相手だからと遠慮(?)していましたが、女子リーグの草分けとはいえず、さすが、そのテクニクは素晴らしく、平均年齢?歳のレディーチーム相手に悪戦苦闘をしました。しかし、回を重ねる内に、昔とつた棒づか、決めるところはしっかりと決めるプレーがでて、何とか面目は保てたと思います。

毎回、汗を流した後には近所の居酒屋等で親睦会を行なっています。今日の各自のプレイの反省、高校時代のエピソードを中心に、さまざまな話題で、いつも会は盛り上がりま。また、現役、若手OBの活躍を聞く度に、我々も負けてはいられないの思いは一致しています。

現在高齢化社会が進む中で、高齢者の生きがい、健康保持が大切であることは言うまでもありません。その事も踏まえて、私達シニアチームは今年から活動日も増やし、対外試合や近県での遠征試合も予定しています。

最近各県でサッカーのシニアリーグが誕生しています。私達も次の目標をシニアリーグ加盟を考えて活動の幅を広げていくつもりです。ぜひご支援下さい。

また、サッカー部OB以外の方で関心のある方はご参加下さい。世話人・板橋 克(駒21-6)

〒一五四〇〇二三
世田谷区若林二二九一―一
電話〇三―三四一九―三九五五

新入会員より

ありがとうございます駒場

駒56-5 北澤絵里子

駒場での3年間

駒56-6 都田 航

駒場高校での3年間は、本当にこれ以上ないほど充実したものでした。勉強、行事、部活動や生徒会活動を通して、多くの貴重な経験ができたと思います。

特に力を入れていた生徒会執行部での活動は、辛い事や苦しい事もありました。しかし、役員や内務外務の皆や先生方と一緒に頑張ったので、それも乗り越えることができました。対面式、中夜祭、文化部発表会など、先輩方の助けもあり、成功を納めた時の喜びは、今でも色彩やかに甦ります。

いつも走り回っていた私を支えてくれた友達、お世話になった先輩方、先生方に深く感謝しています。

百周年記念のコチロン大会で優しく輪に迎えて下さった大先輩方のように、駒場の卒業生としての誇りを持ち、これからの新しい生活でも努力を忘れず、充実した日々を送りたいと思います。

3年前に駒場高校に入学した時の喜びを、今再び感じつつ卒業いたします。

先輩達が選択科目の相談をしています。ついこの間まで自分達がしていた会話のような気がしますが、もうそれから一年がたち、卒業を間近に迎えています。改めて振り返ってみると、多くのことを経験した、本当に長く充実した3年間でした。

駒場では、自分のやりたいことにとことん打ち込むことができました。それは、自由な校風と整った設備のある駒場高校だからこそ、できたことだと思います。恵まれた環境の中で、素晴らしい3年間を過ごせたことに本当に感謝しています。また駒場ではたくさんの人に出会い、その誰もが「自分」というものを持ち持っていると思います。しかしそのためにまとまりを失うことなく、お互いを高め合っていると感じました。

これからは、母校の名を汚さないよう努力するつもりです。そして後輩達には、卒業生がいつまでも自慢できるような駒場高校であり続けられるように、頑張りたいと思います。

あっぱれ、わが青春

駒56-保体 佐藤 達也

近頃、卒業を意識するようになったせい、この保体科での3年間を振り返ることが多くなった。思えば、充実した毎日だった。保体科という独特のクラスでは、

普通の高校生では決して味わうことのできない経験をすることができた。寒すぎる海での遠泳や、実発の練習、部活漬けの日々で辛い思いをしたこともあったし、スキーや、キャンプで楽しい思いをしたこともあった。その保体科での生活の瞬間、一瞬が自分を大きく成長させたと思う。

そして、その成長を支えてくれたのがクラスの仲間達だ。このクラスは個性豊かだ。誰も彼もおもしろい奴らばかり。このメンバーでなければ、このように3年間を振り返り、卒業を惜しんで、物思いにふけることはなかったかもしれない。『人は、めぐり会うべき人と、必ずめぐり会うようにできている』という話を聞いたことがある。めぐり会うべくして、めぐり会ったこのクラスなのではないかと感じている。だが、いつまでも名残惜しんでもいられない。だったら、この保体科での3年間をしっかりと胸に刻み、10年後の同窓会をせめてもの楽しみにして、これからの人生を力強く生きていこう。

コチロンって素敵です！

母校創立百周年記念大会で多いに盛り上がったコチロンでした。最近ちょっぴり下火になっていきます。踊るほどに楽しさ、素晴らしさを実感できるコチロンに関心をもっていたら、歴史、活動状況などをまとめてみました。

コチロンをご存知ですか？

コチロンは17世紀にフランスで誕生。初期は庶民のフォークダンスだったものが、やがて宮廷ダンスとなり、18、19世紀、ヨーロッパから新大陸アメリカへ、さらに文明開化の明治鹿鳴館舞踏として日本に登場。その優雅な動作と、気品高い持続的運動が当時の女子の健康に益するところが多く、体育上、教育上良いと考えられ、旧制女学校で体育の一環としてまた運動会の公開演技として採り入れられた。当校でも、初代校長小林益先生の方針で他のボールゲームなどと共に採り入れられ、校内競技なども盛んに行われた。

初期の40数年間、1年生後半から2年に「カドリール」、3年「カレドニアン」、4年「ランサーズ」、5年で「コチロン」を習得して卒業。卒業後も母校の運動会に集い、コチロンを踊ることを楽しみにしていたという。

'49年には、第4回国民体育大会に「コチロン」の演技で出場。セーラー服姿の在校生と華やかな卒業生が和やかに舞った。

駒場高校の初期には、1年「カドリール」、2年「ファウスト」、3年で「コチロン」を踊った。'55年には(駒8回)男子学生もコチロンを運動会で踊ったという。以降、'63年ころ迄男子生徒も運動会でコチロンを踊っていたようである。

'58年5月第3回アジア大会が東



京で開催された折、エキシビジョンプログラムの中に加えられて、在校生男女生徒800名、卒業生1200名の大集団で参加した。思えばこの頃がピークということであろうか？時代を経て、高校教育の指導要領の変更で体育実技の時間が減らされたことにより、コチロンの時間は少なくなるばかりでついに'68年、

運動会が生徒会の行う体育祭となり、コチロンはプログラムから消えた。

その後コチロンは、級会や同期会、又各地の支部の集まりで踊られ続けていたが、'90年ころコチロン愛好の有志に松桜会が協力し、学校の生徒ホールをお借りして「コチロンを踊る会」が発足した。

小貫先生も指導に加わっていた。だき、やがて百周年を目指して合宿も行う程の大団結となった。

又、同じくダンス愛好の方々の交流も生まれ、'00年には日本女子体育大学の舞踏会に、'03年には東京女子大学の115周年記念祭に招かれ、デモンストレーションを行った。

東京女子学館でコチロン

11月9日、東京女子学館創立115周年記念祭に招かれてコチロンのデモンストレーションをすることに。写真係として同行しました。

東京女子学館の同窓会・白菊会もカドリールを踊り継いでいるというので、一昨年の百周年記念コチロン大会にご招待しましたが、そのときにいらして下さった方達が迎えて下さいました。

女子学館の小学校の体育館には館長・校長先生はじめ見学の方達が集まっていました。白菊会のカドリールの次に、和服組と黒のロングスカート洋装組の2組16人の入場からコチロンが始まりました。広い会場で2組では少し寂しかったのですが、皆様堂々と美しく踊られました。コチロンのあと「今度は皆様と一緒に踊りましょう」と白菊会の方々に誘われて、松桜会のメンバーも加わりカドリールを踊りました。会場いっぱいになり、母校で輪が広がって観望でした。母校でも昔は踊っていたそうで、白菊会の方達にとりどころ習いながら、軽やかなステップを踏んでいらつしゃいました。

中江理事長の謝辞があつて体育館から隣接の同窓会館に案内され心あたたまるおもてなしを受け、お話しは済みしました。東京女子学館では、現在もカドリールは授業に



とり入れて踊っていらつしゃるというので、とてもうらやましく思いました。

コチロンを通して他校の同窓会とも親しく交流ができるとは何て素敵なことでしょう。先輩方が踊り継いで下さったのですから、これからももっと盛んになってほしいものと思いました。

J・Y

コチロンを踊りませんか！

松桜会では現在、月2回の踊る会を開催しています。

・第1木曜日 14時〜16時
駒場幼稚園ホール

4/1、5/6、6/3
7/1、8月は休み、9/2

・第3火曜日 14時〜16時
母校体育講義室(体育棟2F)

4/20、5/18、6/15
7/20、8月は休み、9/21

(共に上履きをご持参下さい。)

この他に第342回生(世話人・杏掛暎子・坂本郁子さん)を中心とした踊っているグループがあります。この期の方々には、戦時中に学園生活

を送ったため、在学中にはコチロンを踊れなかったのです。コチロンに対する憧れを抱いたまま時が過ぎ、コチロンを踊る会があることを知り仲間入りをなさいました。しかし、全くの初心者では皆さんに迷惑をかけるので、自主的に自分達の練習を始め、それがそのまま継続されているとのことでした。

新橋の駅近くにある、港区の生涯教育センターに、港区内に会場を借り、原則的には第2金曜日、13時30分〜16時(会場の都合で変更されることもあり)踊っておられます。

昨年の7月には、会場のある町内会のお祭りに招かれてデモンストレーションを行い、地域との交流の役目も果たされたとのこと。

会場の利便性もあつてか、42回生以外の方も訪れたり、平成の卒業生がたまたま通りがかりに気付き、「駒場のダンスですね」といつしよに踊っていったこともあつたそう、踊りの輪はいろいろな所で広がっているようです。

コチロンの音楽のナツ

コチロンの歴史は、石川キクノ先生や、小貫房枝先生がこれ迄に何回か記されており、又、日本女子体育大学の池間元教授の研究書等もあるのですが、不思議なことに、音楽についての記述がどこにもないのです。第1段については、歌劇マルタの舞踏曲らしいとのことですが、後の部分は不明です。ちなみにファウストの音楽は同じく歌劇

ファウストの村人の踊りであり、いろいろな音楽を組み合わせ、作り上げたものなのでしょうか？もし御存知の方がいらつしゃいましたら是非お教え下さい。

前回に引き続き松桜会講座第2期を開講します

前回の歌舞伎と日本近世史はテーマをかえて再度開講いたしますが、新しく美術系の講座が3つ開かれます。以下の内容と募集要項をお読みの上、奮ってご応募下さい。(変更のある場合があります)

対象者：駒場松桜会会員及び母校教職員・PTA会員

申し込み方法：往復はがきで松桜会事務局迄お申し込み下さい。4月15日締切り(当日消印有効)。応募者多数の場合は抽選。

駒場松桜会会員：講座名、住所、電話、氏名及び卒業回数(例えば駒6-2)。

母校教職員：講座名、住所、電話、氏名及び所属。

母校PTA会員：講座名、住所、電話、氏名及びご子弟の氏名、学年、クラス。

受講料：各講座に記載してあります。第1回目出席時にお支払い下さい。

当日は駒場高校本館玄関前に受付を設営いたします。

講座A 「歌舞伎の美に注目してみよう」 定員：45名 受講料2,500円(5回分)

内容：歌舞伎は常に美を意識しています。役者の芸・作品・舞台面など全ての面において言えることです。それゆえ観る人は夢を分けてもらえるのです。今回のシリーズでは舞台を形づくっているさまざまな要素に注目してみましょう。

講師：金森和子(駒18)

大学時代に歌舞伎研究会に属したのが縁で、「季刊歌舞伎」編集部に入り、昭和51年からフリーとなり歌舞伎を中心にその普及のために執筆、講演、編集、翻刻などに従事し、昨年未まで25年間歌舞伎座などで、歌舞伎講演プログラムにあらすじを執筆していました。主な著作「歌舞伎ファッション」H5年朝日新聞社刊行等々。

講座日程：第1回 04年4月24日(土) 講義 第4回 04年7月24日(土) 講義

第2回 04年5月29日(土) 講義 第5回 04年9月25日(土) 講義

第3回 04年6月26日(土) 講義

*8月は歌舞伎座で観劇(3階席)(自己負担 チケットは講師手配)

講座時間：13:30～15:00

講座B 「文字と遊ぼう 文字もじもじ講座」 定員：40名 受講料 2,000円(4回分)

内容：書からアート、デザインまで、イメージをどこまで表現できるか挑戦してみよう。マイロゴを創ろう。

講師：三宅康文(駒8)

書体デザイナー、タイポグラファー。創立百周年記念として松桜会のロゴマークのデザイン及び記念美術展の総合プロデュースをする。

講座日程：第1回 04年5月15日(土) 講義と実習 第3回 04年7月10日(土) 講義と実習

第2回 04年6月12日(土) 講義と実習 第4回 04年8月28日(土) 講義と実習

講座時間：13:30～15:30

講座C 「漆芸品を楽しむ」 定員：30名 受講料 2,500円(5回分)

内容：欧米でジャパンと言われ美しいがちょっと複雑な工程で仕上げられる漆芸品の扱い、基礎知識を身につけ楽しむ。

講師：小柳種園(駒15)

中尊寺金色堂復元修理に参加し、漆芸の本場金沢で人間国宝の内弟子として学び、大倉集古館の「夾紵大鑑」の修理、東京国立博物館修理室で、長年文化財の修理に携わる一方、蒔絵再生の先駆として日本伝統工芸展の鑑査員として活躍。

講座日程：第1回 04年5月8日(土) スライド・講義 第4回 04年6月19日(土) 美術館見学

第2回 04年5月29日(土) 大倉集古館見学 第5回 04年7月3日(土) スライド・講義

第3回 04年6月5日(土) スライド・講義

講座時間：13:30～15:00

講座D 「武士の日記を読む」 定員：45名 受講料 2,000円(4回分)

内容：前回の講座で私たちが持っている江戸時代の武士のイメージには、後世に創られた部分が多々あることを指摘しました。そこで今回は実際に江戸時代の武士が書いた日記を読みたいと思います。素材として取り上げる「鸚鵡籠中記」はかつて、神坂次郎「元禄御畳奉行の日記」(中公新書1984)で有名になったものです。

講師：谷口眞子(駒30)

早稲田大学教育学部・法学部講師。早稲田大学オープンカレッジでも「江戸の歴史」「赤穂事件を読む」の講座を担当しています。

講座日程：第1回 04年7月24日(土) 講義 第3回 04年8月7日(土) 講義

第2回 04年7月31日(土) 講義 第4回 04年8月14日(土) 講義(予定)

講座時間：10:40～12:00

講座E 「小さな守り仏を彫ろう！」 定員：20名 受講料 3,000円(6回分)

内容：3cm角程の印材を使って、手のりサイズの干支の守り仏を彫ります。ごく普通の彫刻刀で作れます。ご自分の生まれ年、もしくは大切な人の生まれ年の守り仏を彫ってみてはいかがでしょうか。

講師：金城靖子(駒16)

彫刻家、師匠である仏像彫刻家の西村公朝氏が主宰する「ほとけの造形会」所属。

講座日程：第1回 04年5月8日(土) 講義と実習 第4回 04年6月19日(土) 実習

第2回 04年5月29日(土) 実習 第5回 04年7月3日(土) 実習

第3回 04年6月5日(土) 実習 第6回 04年7月17日(土) 実習

講座時間：10:30～12:30

松桜会コンサート

03年度松桜会コンサートは「ハーブ・フルート・ファゴットのクリスマス」と題して、昨年12月6日に東京オペラシティ・リサイタルホールで開催されました。ハーブの三宅美子さん

(駒23)を中心にフルートの立川和男氏(駒23)、ファゴットの境野達男氏(駒18)が交互に登場し、バラエティに富んだ演奏会となりました。曲間のウィットに富んだ三宅さんのお話に、会場は和やかな雰囲気包まれ、楽しい時間が始まりました。

演奏曲はイギリス民謡の「グリーン・スリーブス」や「引き潮」などの馴染み深いものから、現代の武満徹の「海へIII」までと幅広く、会場内はハーブのやわらかな音色

に充たされていました。ジョリヴェの「クリスマス牧歌」で、ハーブとフルート・ファゴットの合奏で盛り上がり、アンコール曲のホワイトクリスマスで会場は一気に明るいクリスマス気分になった、幸せな午後ひとときでした。



柔道部・剣道部

創部50周年記念

合同祝賀会

柔道部と剣道部の創部50周年を記念した合同祝賀会が9月21日渋谷エクセルホテル東急で開かれました。鳴海校長、両部顧問の先生方等を来賓に迎え現役の部員を交え



トヨタ自動車(株)社長張富士夫剣道部先輩、オリンピック銀メダリスト田辺陽子柔道部先輩をはじめとしたOB・OG105人の参加のもと和やかにかつ盛大に催されました。

米国マッカーサー占領下で禁止されていた柔道・剣道両武道が、昭和27年に柔道、28年に剣道が解禁されるとともに当時の長倉校長のご理解と豊田先生を始めとした体育担当の先生のご尽力により全国

高校の先駆として体育授業の選択科目に採用され、同時に部活として両部が発足されました。両部を合わせて既に約900人のOB・OGを輩出している中、さらに現役の活動を物心両面でバックアップして行くこととOB会の充実を誓い散会しました。

久能 晃(駒10)

「慕いて集える」

記念誌刊行を終えて

百周年記念誌編集委員の一人栗屋先生に刊行までの経緯や苦労話をお聞きしました。

Q「どこに苦心されましたか」

A「歴史のページに力をいれました。年表も最も時代を表すもの、特筆すべき価値があると思ったものを選び、その当時の生徒であった方々の書いたものなどを随時はさみ構成しましたが、その取捨選択が大変でした」

Q「学校としての百年の歩みと社会の歩みをどうクロスさせるのか大変だったと思いますが……」

A「その調整は大変でした。編集委員の間で最初に一致して決めた見解は、単なる思い出話ではなく社会の動きに連動して学校の置かれた立場・その中で学校や生徒の活動がいまきと伝わるものを取り上げようという事でした」

Q「この記念誌はいつ頃から構想されたのですか」

A「具体的には99年からです」

Q「刊行後どんな反応が寄せられていますか」

A「第三に特に強い思い入れがあるわけではない先生などからも『夢中になって読んだ』と言われてやりがいがあったと思います」

Q「集められた資料の今後は？」

A「早急に整理して、将来的には資料室を作り、ご希望の方がいつでも見られるようにしたいと思っています。第三のスタンプの押しである本もあるんですよ。ぜひ見て頂きたいです」

リレーエッセイ②

イラストレーターの絵

イラストレーター

矢吹申彦(駒15)

当欄の第1回を書かれた小柳君とは同期だったせいもあって、懐かしさと同時に大変面白く読ませて頂いたが、それは小柳君が詩絵という珍しい世界に住んでい

るからかしらん。ただ、同期とはいっても、私は普通科で小柳君は美術科、本来はあまり接点も少ないところだが、たまたま私がデザインを志し、美術科のデッサン室に居候をしていたりして顔みしりではあった。

その小柳君が詩絵の世界に進んだと聞いたのはいつだったか。もう私は仕事を始めていたので卒業から5、6年、もっと後だったかも知れないが、詩絵と聞いた時は少なからず驚いた。かくいう私もデザイナーからいつの間にかイラストレーターになっていったが。

今でこそイラストレーション、いわゆるイラストは誰でも知っている言葉だが、高校1年の夏に和田誠氏の1枚のポスターを見てグラフィック・デザインに魅せられそれを志した頃は、専門誌でもこの言葉は用いられていなかった。

小さければさし絵、挿画、大きな時は何と云っていたのか。なにしろ、ポスターや広告が商業美術と呼ばれていた最後の時代、ポスター絵、広告絵、表紙絵あたりが適当なところだったか……。

それはともかく、自分ではデザインもまた文化であると思っていた。今ならクリエイティブな……といったぐらいいのところが。だから、デザインの勉強以上に文化を学びたかった。ジャズ、映画、美術、文学、詩、芝居、舞踏……。

後に芝居(演劇というべきか)に進んだ一年以上級の佐藤信が全ての先達だった。その佐藤信が言った「デザインもいいよね」と。

この一言は心強かった。以来絵の描けるデザイナーを目指し、グラフィック・デザイナーからイラストレーターへと。それでも与えられたテーマの脇に位置するイラストレーションを描き続けていれば、今少し自由に描きたくなる時もある。で、時々描き下ろしの展覧会を開くことになる。

自由にとはいっても、展覧会毎にテーマを設け、そのテーマを絵解くわけだから、あくまでイラストレーションとしてのタブロー画である。「猫」、「私の好きなもの」、「音楽」、「西条八十」、「浮き雲」。このやり方、少しずつ定着してきたようで一人勝手に喜んでいますが、これも佐藤信の一言からかと思うと懐かしいね。



「きんとん雲」

2003年の描き下ろし展「浮雲之展」出品作。本来は孫悟空が乗るべきものだが、戯れに自分をのせた。

松桜会コンサートのお知らせ

日時 2004年12月18日(土) 午後2時開演
 場所 東京オペラシティ・リサイタルホール
 作曲家・安藤由布樹の世界
 — ピアノ・お話&作品集 —

安藤由布樹氏(駒32)は活躍中の新進気鋭の作曲家・指揮者・ピアニストです。今後の演奏活動は一部掲示板に掲載してあります。次回の会報75号で、詳細をお知らせしますので、お誘い合わせてご来場下さい。

いま、仰光寮は： 百周年記念事業の一つとして揚げられていた仰光寮の保存については、「50周年記念事業として、松桜会の費用で麻布から移築した仰光寮と共に、百周年を迎える」という、当初の目的は達成できたものの、最近の老朽化は激しく、外周の竹垣は殆んど壊れ、柴折戸もはがされ、外壁の剥落もあり、至急何らかの対策を講じなければならぬ状態となっています。

松桜会としても矢部理事、祝評議員を中心に詳細を調査中です。去る2月25日、都教育庁の担当官2名が来校、矢部理事、及び学校側から事務長の立ち合いのもと、



内外部の細部にわたっての視察が行われました。もともと木造建築であるための防火管理上の問題や、瓦の落下等によるけが等の心配もあり、近日中に松桜会との話し合いの場をもつということとなりました。

お詫びと訂正
 創立百周年記念会員名簿の中で第三32西 小川富美子様 第三36南・旧職員 武田和子様 お二人ともお元気でいらつしやいますのに、逝去会員の中にお入れしてしまいました。深くお詫び申し上げます。各々の級に訂正していただきたくお願い申し上げます。

母 校 生 徒 の 活 躍

(03年9月以降)

- 柔道**
 - ・ 東京都女子団体大会 3位
- 水泳**
 - ・ 東京都新人大会 男子400リレー 5位
- サッカー**
 - ・ 全国高校選手権大会 4位
- 陸上競技**
 - ・ 関東選抜新人大会 女子400ハードル 3位
 - ・ 北島絢子 3位
- 国民体育大会(静岡)**
 - ・ 女子400ハードル 2位
 - ・ 滝田浩美 2位
- 器械体操**
 - ・ 東京都新人戦大会 尾崎由 4位 迫那知佳 2位
- 百人一首部**
 - ・ 全国かるた競技女流選手権 汐崎伸子 D級3位
 - ・ 首藤芙美 E級1位
 - ・ 網山 泉 E級1位
- 演劇部**
 - ・ 関東高等学校文化祭演劇部 最優秀賞・文部科学大臣奨励賞・演劇協議会長賞。全国代表になる。

百周年記念名簿完成



百周年の祝賀行事などの写真を巻頭に掲載した記念名簿が出来上がりました。ご予約の方にはすでに

お送りしておりますが、残部僅少となりました。ご希望の方は早めに電話またはFAXで松桜会事務局にお申し込み下さい。

頒布価格
 送料込み 三〇〇〇円

掲 示 板

- ◆奥田良三生誕101年記念コンサート～初恋～
 2004年6月19日(土) 14時30分～ 上野旧奏楽堂 全席自由 3,500円
 出演・門屋留樹(駒16) 他 門屋 ☎044-711-2619
- ◆第16回「合唱曲集を歌う会」(スリッパ持参)
 2004年9月4日(土) 13時～16時 駒場幼稚園
 係・新井 ☎03-5701-0194 鈴木 ☎03-3414-9723
- ◆北とびあ合唱フェスティバルLOOK AT CONCERT
 (今注目される若手作曲家による自作自演コンサート)
 2004年5月29日(土) 18時30分～ 北とびあさくらホール
 安藤由布樹(駒32) 指揮 安藤由布樹記念合唱団
- ◆市野由美子のちよっとステキなコンサート
 2004年5月15日(土) 15時～ 船橋市文化創造館きららホール
 メゾソプラノ・市野由美子(駒11) 作曲ピアノ・安藤由布樹(駒32)
 全席自由2,500円 ☎03-5313-9220 安藤
- ◆ギリシャ音楽フェスタ アテネオリンピック記念公演
 ギリシャ神話によるオペラ「ラビュリントス」
 作曲指揮 安藤由布樹(駒32)
 2004年6月20日(日) 14時～ 学習院大学創立百周年記念講堂
 入場料9,000円 ☎03-5313-9220 安藤
- ◆北川暁子ヴェートーヴェン連続演奏会
 2004年4月20日、5月20日、6月21日、7月20日、9月21日、
 10月20日、11月20日、12月20日 19時～
 浜離宮朝日ホール 全席自由4,000円 通し券30,000円
 ピアノ・北川暁子(駒15) ☎サウンド・ギャラリー03-3351-4041
- ◆田代美代子ダニエル・ヴェイス・デュオコンサート
 2004年6月13日(日) 14時 つくばノバホール 前売3,000円
 14日(日) 19時 所沢ミュージアムキーホール 前売3,500円
 20日(日) 19時 武蔵野市民文化会館小ホール 前売4,000円

◇松桜会ホームページでも会員の皆様のご意見、ご要望、リンクしたい情報などを受け付けておりますのでお寄せ下さい。

事務局から

☆会費納入のお願い
 例年どおり会費の納入をお願い致します。振替用紙を同封しております。今回から少し形式が変わり、振替用紙にご住所と氏名、金額

計 報

が印字されています。会費は、ご都合により数年分をまとめて納入して下さい。年額で先へ繰り延べて領収させて頂きます。ご住所、電話番号の変更や改姓などがございましたら、余白にその旨をお書き下さい。松桜会活動は、皆様の会費で維持されていますので、是非ご協力下さいようお願い致します。

田賀美代子先生(美術) 平成15年8月 逝去
 福永美津子先生(英語) 平成16年2月29日 逝去
 ご冥福を心からお祈り申し上げます。